

消防だより

火

の用心

Tokamachi Fire Department

No.105



令和4年7月5日

自然災害

特集

“天災は忘れたところにやってくる”

その被害の恐ろしさを忘れたときに、再び起こるものだという戒めの言葉です。今号では、十日町地域で起きた過去の自然災害を振り返り、災害に備えるをテーマにしています。

写真・平成23年7月新潟福島豪雨
十日町市川原町地内

今から 11年前

平成23年7月 新潟・福島豪雨



平成23年7月に発生した新潟・福島豪雨災害。十日町地域では、過去に経験したことがない記録的な大雨となり、各所で甚大な被害を受けました。新潟県では、死者4人、行方不明者1人、負傷者13人に及び、家屋被害は1万5千棟を超えました。
(写真：十日町市浅川原地内)

十日町市・津南町過去の災害	
発生年月日	災害名
平成16年7月13日	新潟・福島豪雨土砂災害
平成16年10月23日	新潟県中越地震
平成19年7月16日	新潟県中越沖地震
平成23年3月12日	長野県北部地震
平成23年7月28日～31日	新潟・福島豪雨
令和元年10月12日、13日	令和元年東日本台風（台風19号）

右表を見ると、大規模な災害が発生しても、またすぐに別の災害が発生するということがあります。
この先いつ発生するかわからない災害に対し、**自分自身や大切な家族の命を守るよう備えをしておきましょう。**備えをすることで自分の置かれている状況を判断できるようになり、早期に命を守る適切な行動ができるようになります。

過去の災害を教訓とし、
今できる備えをしておきましょう。



防災グッズなど一緒に揃えて置けばいざという時に便利です。

1 **防災情報**
地震・洪水等のハザードマップや避難所一覧など、災害への備えに役立つ情報を確認しておきましょう。

■ハザードマップ

十日町 ホームページ
津南町 ホームページ

住んでいる場所にどのような危険があるか知ることが重要です。各種災害によって被害が予想される場所を地図に示した「ハザードマップ」を確認しましょう。十日町市、津南町が出しているHPやリーフレットから詳細情報を確認できます。

2 **アプリ**
アプリを活用すると、場所を選ばず災害に関する様々な情報を確認できます。

■新潟県防災ナビ

災害情報だけでなく、安否確認機能があり、友人や家族の安否を確認することもできます。

3 **メール**

■十日町市 あんしんメール
■津南町 防災メール

防災・気象・避難情報等がメールで届くため、携帯電話やパソコンを持っている人は、ぜひ登録しておきましょう。

4 **無線機**

十日町市 防災行政無線
津南町 広報無線

無線機は、「別の何かをしながら聞ける」というメリットや、速報性や地域に根ざした細やかな災害情報が聞けるということから、災害時の情報収集手段として利便性に優れています。

火災

5、6月に火災多発!!

5、6月に火災が頻発し、一日に2件建物火災が重なるという日もありました。また、火災による死者も出ています。今一度火の取扱いには十分注意していただき、「火の用心」をお願いします。



火災内訳 (5～6月23日現在)

建物火災 3件

林野火災 3件

車両火災 1件

消防団

令和4年度信濃川・魚野川総合水防演習



十日町市消防団の改良土のう積み工法訓練

令和4年6月5日(日) 信濃川・魚野川総合水防演習が燕市で開催されました。この演習は、水防技術の向上・伝承及び水防団の土気高揚を図るとともに、幅広い参加による地域社会全体の防災意識の向上、実践的なシナリオによる災害対処能力の更なる向上を図ることを目的としています。

参加したのは、県内同河川沿線町の8消防団で十日町市消防団、津南町消防団も演習に参加してきました。各消防団がそれぞれ違う水防工法で訓練を実施し、木流し工法や改良土のう積み工法などを行い、実災害に則した訓練となりました。

救急

熱中症にご注意を

新型コロナウイルス感染症予防対策のためのマスク着用が原因で、熱中症になるケースがあります。高温多湿的环境下では熱中症リスクが高くなりますので十分注意が必要です。

感染症予防のため、冷房使用時も換気が必要です。換気時は室内温度が高くなるので、熱中症予防のためエアコンの温度調節をこまめに行いましょう。

気温や湿度が高いときのマスク着用は、熱中症のリスクが高まります。屋外で人と十分な距離(少なくとも2m以上)が確保できる場合は、熱中症のリスクを考慮し、マスクを外すようにしましょう。

赤色灯

【夏のレジャーを楽しむために】

いよいよ夏本番。涼を求めて、海や川・山へ出かける方が多いと思います。ただ、楽しい夏のレジャーであっても、重大な事故につながる危険性があります。安全にレジャーを楽しむために、次のポイントを紹介します。

夏は突然の雨や落雷がこりやすい季節なので、ニュースなどで天気予報や川の情報を確認してから出かけるようにしましょう。加えて、海や川などで遊ぶ際は、水深があるところや流れが速いところ、波が高いところなどの危険な場所には近づかないようにしましょう。また、山に登る際は、携帯電話を持参し、通信手段を確保しておきましょう。

不慮の事故に合わないよう、安全対策をきちんとして今年の夏を楽しんでください。

